

科目名	老年看護方法論		科目ナンバリング	N-NP NP 2-16. H N	単位数	1単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	N30019	時間	30時間				
区分	看護実践科目	必修	担当者名	佐藤 厚子、小野 綾 (実務経験のある教員)				授業 形態	講義	複数
	アクティブラーニング	有								
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>老年看護学概論での学びを踏まえ、加齢が高齢者の健康生活に及ぼす影響と援助方法を学習する。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの2, 3, 4に関連する。 カリキュラムポリシーの2-1、3-1、3-2、4-1に関連する。</p>									
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢によって生じる高齢者の心身への影響、日常生活への影響を理解できる。 2. 高齢者特有の疾患と症状を理解し、アセスメントのポイントが理解できる。 3. 高齢者の健康を維持・増進するための看護の役割について考えることができる。 4. 高齢者とその家族を支えるための地域の役割と看護のつながりについて考えることができる。 									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容				備 考		
第1回	高齢者の生活機能アセスメント			・ 基本動作とADL評価・CGA				PBL 終了後課題あり 佐藤		
第2回				・ 高齢者のフィジカルアセスメント				PBL 終了後課題あり 小野		
第3回				・ 老年症候群と廃用症候群 ・ フレイル				PBL 終了後課題あり 佐藤		
第4回				・ 骨粗鬆症と転倒・転倒予防対策				PBL 終了後課題あり 佐藤		
第5回				・ 高齢者の運動機能とリハビリテーション				小野		
第6回	症状のある高齢者のアセスメント			・ 脱水・浮腫				小野		
第7回				・ 疼痛・掻痒感				小野		
第8回				・ 褥瘡（講義と学内演習）				PBL 提出課題あり 小野		
第9回										
第10回				・ 高齢者のうつ、自殺 ・ 高齢者のせん妄				佐藤		
第11回										
第12回				・ 認知症				PBL 終了後課題あり 佐藤		
第13回										
第14回	高齢者のリスクマネジメント			・ 医療安全と救急救命				小野		
第15回	地域における高齢者			・ 介護予防 ・ 地域包括ケア、家族支援				佐藤		
評価方法及び評価基準	2/3以上の出席を以って評価の対象とします。 試験80%、レポート課題20%									
課題等	提出課題は必ず提出してください。提出課題は採点后に指導とともに返却します。									
事前事後学修	予習が行われることを前提として授業を行います。必ず予習を行い授業に臨んでください。									
教材教科書参考書	<p>【教科書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」北川公子(著者代表)、医学書院 (ISBN 9784260031868) 2. 「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論」鳥羽研二(著者代表)、医学書院 (ISBN 9784260031721) 3. 「根拠と事故防止からみた老年看護技術」亀井智子(編集)、医学書院 (ISBN 9784260043267) 4. 人体の構造、人体の機能で使用した教科書 									
留意点	状況によりteamsによる双方向的な形態を採用します。全出席を望みます。									